

Tongali-PF presents

研究者向け

JST 大学発新産業創出プログラム (START)

大学・エコシステム推進型

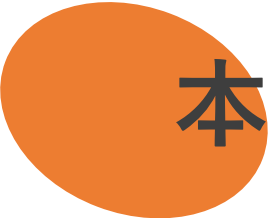
スタートアップ・エコシステム形成支援 事業

GAPファンドプログラム実施内容説明会

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
スタートアップ推進室
(Tongaliプラットフォーム事務局)



※Tongaliは登録商標です



本プログラムについて

令和 2 年 7 月に内閣府が選定した
「スタートアップ・エコシステム拠点都市」における取組との連携により
大学を中心としたスタートアップ・エコシステムの構築に向け、
環境整備を推進するJSTの事業。

2021年度に、当Tongali-PFを含め、全国で 3 拠点が選定された。

大学による研究開発スタートアップ創出の基盤整備と、
ファンドによる技術シーズの事業化ブーストが期待されている。

本プログラムについて

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介 プラットフォーム名: (2021年10月時点) 2021年度開始～2025年度終了予定 **Tongali** (Tokai Network for Global Leading Innovation)

参画機関

主幹機関:名古屋大学、共同機関:豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立芸術大学、椋山女学園大学、光産業創成大学院大学、愛知県立大学、静岡大学、浜松医科大学、南山大学
幹事自治体:愛知県、岐阜県、名古屋市、浜松市 協力機関:日本ベンチャーキャピタル、Beyond Next Ventures、ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ、MTG Ventures、Technology Partnership of Nagoya University、シンガポール国立大学、ノースカロライナ州立大学、アカデミック・キャングスター、中部経済連合会、浜松地域イノベーション推進機構、名古屋銀行

目指すスタートアップ・エコシステム

ビジョン「ものづくり産業集積地としての基盤を活かした“ディープテックイノベーション”のグローバル拠点形成」を掲げ、スマート社会「Tech Innovation Smart Society」を具現化するスタートアップ・エコシステムを実現する。10,000人/年が受講できるアントレプレナーシップ教育の提供し、起業活動支援により、本PFから累計150社以上の大学発ベンチャーの創出を目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

研究開発課題は2022・23年度は10件、2024年度は15件(うち5件は民間資金等を活用)、2024年度は20件(うち10件は民間資金等を活用)を予定している。

- ・シーズライブラリを活用した技術の発掘を行う。
- ・選考前の仮説検証プログラム実施により技術からビジネスモデルへの展開を図る。
- ・選考後はメンターによるハンズオン支援・起業教育プログラムを実施する。
- ・拠点都市と連携したDemo Dayでの発表機会を提供、継続支援を行う。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

希望するすべての学生等がアントレ教育を受講できる教育体制を構築し、起業支援までの深度を高めた教育・育成を行う。

- ・アントレ教育の裾野を拡大し、PF全体で10,000人/年が受講できる体制を構築する。
- ・マインドセット、スキルセット、実践フェーズのプログラムを開講する。
- ・5年後、全機関の全学教育等でマインドセットステージの教育を行う。

(3) 起業環境の整備

起業を志す研究者・学生が、自らの起業フェーズを明確に理解し、次のステップへの必要な支援を受けられる環境整備を行う。

- ・起業を志す研究者・学生・社会人の活動拠点をプラットフォーム内に作ると共に、プロトタイプ製作のためのサポート機能を提供する。
- ・起業相談窓口の機能拡充やPF内起業ルールの高度化を図る。
- ・実証試験やコミュニティ形成のための支援プログラムを提供し、学生・教員・支援者・企業等を繋げる広くて濃いネットワークを構築する。

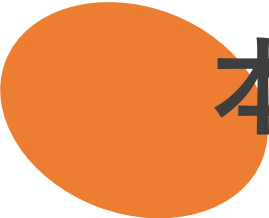
(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

本地区のスタートアップ・エコシステム拠点都市の運営機関の1つとして、ビジョン・KPI達成に向け取り組む。

- ・拠点都市コンソーシアムと連携して、地域全体でのスタートアップ起業～成長までの支援を面で実施していく。
- ・DemoDayの拡大、プロトタイプ展示等の拠点都市接続イベント開催により、エコシステムの発展を図る。
- ・海外ベンチャー先進地域や他の国内グローバル拠点都市との連携を活発化させる。

活動成果

2021年11月より活動開始のため、今後記載予定



本GAPファンド参画大学（全11大学）

- ・ 名古屋大学
- ・ 豊橋技術科学大学
- ・ 岐阜大学
- ・ 三重大学
- ・ 名城大学
- ・ 藤田医科大学
- ・ 名古屋市立大学
- ・ 愛知県立芸術大学
- ・ 愛知県立大学
- ・ 静岡大学
- ・ 浜松医科大学

プログラム実施内容

項目	タイプA	タイプB
採択金額 (直接経費)	1,000万円～最大3,000万円／件	300万円～最大1,000万円／件
目的・対象	革新的な技術シーズについて ・市場・ビジネスの成立が見込まれる課題 ・起業に向けた PoC や試作品開発に大きな資金が必要な課題	革新的な技術シーズについて ・市場・ビジネスの成立の可能性がある課題 ・ビジネスプランや知財戦略の強化 ・市場調査に必要なデータや試作品作成
技術分野	医療系：医療分野、創薬分野、介護・福祉分野が対象 モノづくり-Deep Tech他：医療系以外	
採択件数（合計）	数件	10件以上（20件程度となる可能性有）
応募資格等	研究代表者は11大学に所属する教職員、学生（修士課程、博士課程の学生に限る）	
	<u>ベンチャーキャピタル等に所属する方の参画が必須（審査会への申請時）</u>	
重複応募	旧STARTプロジェクト支援型の過去採択シーズでは申請不可	旧SCORE/旧STARTプロジェクト支援型/SBIR フェーズ1の過去採択シーズでは申請不可
研修等	事前研修：審査前に全3回（医療系は全4回）を受講（原則必須） 採択後：約4回の研修、メンタリング、中間報告会、DEMO DAYでの成果発表	

※詳細につきましては、募集要項を必ずご確認ください。

プログラム実施内容

3月

①エントリー

3月31日までにご所属機関の産連窓口へお問い合わせ頂く（エントリーシートを入手し提出）。

4月

②チームアップ

シーズ発明者等（研究代表者）と伴走者のチームを結成。

5月

③仮説検証プログラム受講

リーンスタートアップ手法等を用い、ベンチャー起業の可能性を探索。

7月

④ GAPファンド審査会

審査会へ申請し、採択チームに研究開発費を配分。

8月

⑤メンタリング・実用検証・研修

ベンチャービジネス分野等で活躍する人材が、メンターとしてチームを育成、支援。
ファンドを用いて、実用検証可能な最小限の試作品やデータ（実験結果、計算結果）等を検討。
約4回の研修を受講し、中間報告会でのブラッシュアップ。

2月

⑥Demo Day

ビジョンとともにビジネスモデルをSTARTプロジェクト推進型事業の事業プロモーターやベンチャーキャピタリスト等にプレゼンテーションし、次の事業化ステージを目指す。

※詳細につきましては、募集要項を必ずご確認ください。

JST START事業内での重複申請の制限

本プログラム

これから申請するプログラム 現在申請中・実施中のプログラム	起業実証支援	ビジネスモデル検証支援	SBIR フェーズ 1 支援		大学推進型内の研究開発課題	スタートアップ・エコシステム形成支援内の研究開発課題
			起業による技術シーズの事業化を目指す場合	技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合		
起業実証支援 旧STARTプロジェクト支援型	×	×	×	○	×	×
ビジネスモデル検証支援 旧SCOREチーム推進型	×	×	×	○	×	×
SBIR フェーズ 1 支援	起業による技術シーズの事業化を目指す場合	×	×	×	×	×
	技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合	○	×	×	○	○
大学推進型内の研究開発課題 旧SCORE大学推進型	×	×	×	○	×	×
スタートアップ・エコシステム形成支援内の研究開発課題	×	×	×	○	×	×

※本プログラムでエントリーシートを提出した後、4/27申請期限の「STARTプロジェクト推進型起業実証支援（旧STARTプロジェクト支援型）」の第1次審査へ申請された場合は、本プログラムの審査会への申請はできません。

エントリー

3/1から、ご所属機関の産連部門からご案内させて頂いています。

エントリー用紙は、ご所属機関の産連部門から入手して頂き、以下の項目を記入して頂きます（予定）

- ・ テーマ
- ・ 研究代表者の連絡先情報
- ・ 技術分野
- ・ 技術シーズの内容
 - 発明（周辺特許を含む）
 - 技術の内容
 - 現在構想している事業プラン
- ・ 仮説検証プログラムへの参加について
- ・ 他の起業支援関連資金に関する過去の採択情報
- ・ 産学連携の担当窓口

当該技術シーズによるベンチャーを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（共願人）の同意が得られているか、その他に関連する発明が無いか、等について記載ください。共同出願の場合、最終選考への申請時までに、共願人の同意を得る必要があります。

チームアップ



研究代表者
(修士課程・博士課程の学生でも可能)



事業化プロデューサー
候補



産連伴走者
(各大学の産連
部門等でアサイン
させていただきます)



知財担当者
(各大学の産連
部門等でアサイン
させていただきます)

事業化プロデューサー候補が不在の場合でも、ご参加いただけます

仮説検証プログラム受講



雇われるんじゃない。ビジネスを創るんだ。

ベンチャー投資経験豊富なLELの講師陣による
仮説検証（リーンスタートアップ）プログラムを実施します。

日程：4月～6月に計3回（「医療系」を希望するチームは計4回）

※リーンスタートアップ：

シリコンバレーの有名な起業家で、スタンフォード大学等で教鞭をとるSteve Blank氏が開発した顧客開発モデル。

LELは、Steve氏の全面支援を受けながら、ノウハウ・資金の両面から「学び続ける起業家」を支援しています。

※過去に受講経験のある方は、別途ご相談ください

GAPファンド申請は、チームでの仮説検証プログラム受講を条件とします

GAPファンド審査会準備



申請書・プレゼン資料作成

仮説検証プログラムで検討した事業モデルを
申請書・発表スライドにまとめます。

7月の最終審査に向け、各自で
事業プレゼンをブラッシュアップします。

**各チームの伴走人材が、研究代表者の申請書・プレゼン資料作成を
バックアップします**

GAPファンド審査会



GAPファンド審査会：7月を予定

仮説検証プログラムの受講後には、
ファンド採択チームを決定するための
審査会を開催します。



採択チームには、300～最大3000万円の研究開発費を分配します

ファンドは各大学の各研究室に紐づき、技術シーズの実用検証に使用いただけます

メンタリング・実用検証



採択され支給された研究開発費は、
R4年度内に全額使用いただきます。

月1～2回程度のメンタリングを
実施します。

採択チームには、300～最大3000万円の研究開発費を分配します

ファンドは各大学の各研究室に紐づき、技術シーズの実用検証に使用いただけます。

DEMO DAY



2月～3月頃を予定

ベンチャーキャピタリストや協業パートナーへ
技術シーズと事業モデルについて
ピッチを行います。

**希望者には、STARTプロジェクト推進型事業や
その他ファンド獲得の為の支援を継続いたします**

2021年度の実施実績

JST「SCORE大学推進型拠点都市環境整備型」事業で実施（8大学）

4 5 件がエントリーし、仮説検証プログラムを受講

4 1 件が審査会への申請書類提出（書面審査）

3 1 件について面接審査

2 1 件を採択

2月 2 3 日にDemo Dayを開催

お問い合わせ先

※お問い合わせは、以下の各大学窓口へお願いいたします **お問い合わせ締め切り：3/31（木）**

※お問い合わせいただいたのち、**産連担当が、知財等の確認の為、面談等させていただきます**

申請される場合には、別途、エントリシートをご提出いただきます（各大学の問い合わせ先の指示に従う）

○名古屋大学

スタートアップ推進室 START大学・エコシステム推進型 GAPファンドプログラム担当

TEL：052-559-9683 / E-mail：tongali-x@aip.nagoya-u.ac.jp

○豊橋技術科学大学

研究支援課 START大学・エコシステム推進型 GAPファンドプログラム担当
小早川貴昭

TEL：0532-44-6983 / Mail：chizai@office.tut.ac.jp

○岐阜大学

研究推進部 研究企画課内

START大学・エコシステム推進型 GAPファンドプログラム担当

TEL：058-293-2087 / E-mail：gjai03003@jim.gifu-u.ac.jp

○三重大学

研究・地域連携部 社会連携チーム START大学・エコシステム推進型 GAP
ファンドプログラム担当

TEL：059-231-5549 / E-mail：syakai-t@ab.mie-u.ac.jp

○名城大学

社会連携センター

START大学・エコシステム推進型 GAPファンドプログラム担当

TEL：052-838-2473 / E-mail：ccr@ccml.meijo-u.ac.jp

○藤田医科大学

研究支援推進本部事務局 研究費管理課

産学連携推進センター事務担当：戸次（べっき）

TEL：0562-93-9866 / E-mail：fuji-san@fujita-hu.ac.jp

○名古屋市立大学

産学官共創イノベーションセンター

START大学・エコシステム推進型 GAPファンドプログラム担当

TEL：052-853-8309 / E-mail：ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp

○愛知県立芸術大学

愛知県立芸術大学 美術学部 准教授 春田登紀雄

TEL:0561-76-4613 / E-mail：tokio_haruta@mail.aichi-fam-u.ac.jp

○愛知県立大学

愛知県立大学 情報科学部 准教授 神谷幸宏

TEL：0561-76-8789 / E-mail：kamiya@ist.aichi-pu.ac.jp

○静岡大学

イノベーション社会連携推進機構

スタートアップ事務局 GAPファンドプログラム担当

TEL：053-478-1713 / E-mail：startup@cjr.shizuoka.ac.jp

○浜松医科大学

産学連携・知財活用推進センター 担当：天野

TEL：053-435-2230 / Email：amanoy@hama-med.ac.jp

Tongaliからはじまる Tech Innovation Smart Society の実現

